

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

- ☆活動報告……………2
- ☆クラブ活動報告……………3
- ☆夕会便り……………4
- ☆ボランティア募集……………5
- ☆クラブボランティア募集
- ☆牛乳パック満員御礼……………6
- ☆写真募集のお知らせ……………7
- ☆風〇〇サスペンス劇場(田中連載)
- ☆敬事の料理コーナー……………8
- ☆バリアフリーよもやま話(岡本連載)
第70回「お笑い芸人」……………9
- ☆バリアフリーよもやま話(岡本連載)
第70回「お笑い芸人」
- ☆寄付のお礼……………10
- ☆けいじのつぶやき……………11
- ☆メンバーのつぶやき……………12

2018年 5月号

活動報告

四月の活動は新メンバーとして廣瀬依生さんが入会をし、再職員として日高(旧姓河原)さんが入りました。
そして、月末最後に行われるクラブ活動に於いて新しい部が誕生しました。
その名もぶらり部といいます。
どんな部かというと、散歩に行く部で台場や六本木などにある様々なスポットへ散歩に行くクラブです。

田中 聡



↑ 作業中の母ちゃんと三木さん



↑ 足でパソコンを打っている幸さん



↓ ぶらり部で外出した様子



新しい人が増えたり、新しいクラブ活動が出来たりと色々な動きがありました。



クラブ活動報告

4月28日土曜日。風の子会でクラブ活動がありました。

この日は新しいクラブが出来ました。その名はぶらり部です。参加メンバーは広瀬さん、松本さん、職員は岸田さん、日高さん、小林さんです。最初はお台場へ行きました。帰りは船です。船員さんは優しい人でした。広瀬さんは携帯電話で景色写真を撮ってました。松本先輩は水を買って飲んでました。

柳川 敬事



↑アーバンランチ（クルーザー）に乗ってお台場から帰る、ぶらり部のメンバー（左の写真から廣瀬さん、柳川さん、松本さん）

新しくぶらり部が発足しました！！
上の写真は、ぶらり部で外出した時の写真です！！



夕会便り

4月7日 先々週にひき続いて「外に出ようについて」の話し合いが行われ、実行委員会から説明があり新たにレインボーブリッジを徒歩で横断と鉄道博物館が加わりました。鉄道博物館は障害者割引が効かないため断念するし、レインボーブリッジ案はというと、「レインボーブリッジは面白い、最後を実習所にすれば他のボランティアさんの宣伝にもなるし、つながり持つためにもいいのでは？」という意見があがり次週レインボーブリッジか横浜案か決を採ることになりました。

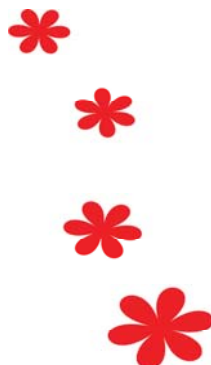
4月14日 給料の支払いについて所長から説明があり「事務手続き上月末締め翌月10日前後にして欲しい」とのことで全会一致で承認されました。次に先週、外に出ようの場所選定で、ふた案残ったレインボーブリッジ案と横浜案の再検討に入り横浜は中華街や観光名所もあるし安全。レインボーブリッジ案は、車いすは手摺りで景色が見えないただ渡って終わってしまう。お台場で渡り終えるのであればお台場散策で企画を絞ればいいのでは……。残暑でも35度あるのでボランティアさんには過酷ではないか？ ということで横浜に決定しました。日程は九月の土曜日を実行委員会から出され検討した結果、八日で予備日は十一月十日に延期となりました。

班行動？ 団体行動？ 今回は横浜なので動きやすい班行動になりました。

4月21日 実行委員会からテーマ案があがりました。「横浜story食べ歩き」・「中華街丸ごといただきます」・「いついっても大好きな横浜」・「海を見てのびのび歩く横浜」・「横浜歴史探訪」・「異国情緒を感じる所で記念写真」など。他の意見として横浜スタジアムに行こうというのもありました。テーマの最終決定は、5月になります。続いて予算について話し合われました。実行委員会から予算案として、参加費1000円 食事1000円 交通費1500円 計2500円という案が出され、他に食費1200円 交通費1300円という意見もありました。それを踏まえて野意見として「お金を徴収する立場を考えると1000円の方がキリがよいのでは……」「もし学生が来たら食費上限1000円で残りは自腹では心証を害するのでは？」との意見もあがり内訳は未定です。

決定事項として

田町駅10時港南口集合 10時半頃発 16時田町駅港南口 解散16時半頃



ボランティア募集

あなたに手伝ってほしいこと(日中活動)

- ①、昼食の介助・トイレの介助
(午前11時30分～午後4時00分)
- ②、作業の手伝い
- ③、作業の工夫の相談
- ④、昼食後の食器洗い・そうじ・洗たくなどの手伝い(午後1時00分～4時00分)
- ⑤、買い物の手伝い(メンバーの付き添いの手伝い)
- ⑥、外出・散歩の手伝い(近所の公園に行く・散策をする)
- ⑦、行事の手伝い(旅行や水曜レクリエーションなどの参加や下見にも行く)
- ⑧、留守番・電話対応
(職員が送迎に出てる間の留守番, 午前9時00分～11時30分)
- ⑨、福祉車両の助手(午前9時00分～11時30分)
- ⑩、人生相談(僕たちの悩みを聞く手伝い)

皆さんの空いた時間で良いので、ご協力をよろしくお願いしま～す！！



🌸🌸🌸 クラブボランティア募集 🌸🌸🌸

あなたに手伝ってほしいこと(クラブ活動)

毎月一回、最終土曜日午後1時00分～4時00分まで、クラブ活動を行っています。

その内容は

- ①、料理クラブの手伝い(調理・買い出し・片付け)
- ②、マージャンクラブの手伝い(教えてくれる人・一緒に参加してくれる人)
- ③、ぶらり部の手伝い(散歩の付き添い、車いすを押してくれる人)
- ④、手芸クラブ(デザインを考えてくれる人・一緒に作ってくれる人)

皆さんの空いた時間で良いので、ご協力をよろしくお願いま～す！！！！

🌸🌸🌸 牛乳パック≡満員御礼 🌸🌸🌸

日頃、風の子会の活動にご協力いただきありがとうございます。

前回まで牛乳パックの募集を行っていましたが、皆様の協力のお陰もありまして

牛乳パックが予想以上に集まりました。

今後しばらくは、材料が十分確保された状態にあり誠に勝手ではありますませんが牛乳パックの募集を打ち切らせて頂きます。

本当にありがとうね！！
これからも皆さんから送ってもらった
大切な牛乳パックを使って
真心こめて頑張って和紙はがきを
製作します！！



写真募集のお知らせ

現在風の子会では、過去～現在までの風の子会の活動などを収めた写真を募集しております。

アナログやデジタル何でも構いませんのでもしお持ちでしたら、風の子会までご連絡、もしくはお送りください。よろしくお願いたします。（なお送って頂いた写真は原則必ずお返しいたします。）

連絡先

特定非営利活動法人 風の子会

〒108-0022 東京都港区海岸3-3-18

芝浦日新ビル5階

TEL:03(6809)4001 FAX:03(6809)4002

Email:kazenoko@kazenokokai.or.jp



↑平成8年外に出ようIN横浜



↓平成3年表参道ふれあいバザー

↓昭和56年料理実習



風〇〇サスペンス劇場

AさんはT君に何度も何度も携帯電話の方にも、自宅の固定電話にも掛けたのだが、掛からず朝を迎えた。そして朝になり、AさんはT君の迎えに行った。そこで、タカコが亡くなったことをT君は聞かされ驚きの表情に変わった。それを聞いたT君は、犯人が誰かすぐに頭をよぎった。そしてAさんは、福祉車両の送迎後朝の朝礼で皆に報告をした。それを聞いたOさんやタカフミさんは、タカコの死を悔やんだ。そしてその一週間後、タカコの通夜・葬儀告別式が行われる「〇〇葬儀所」の方に、タカコの家族や親戚、そしてタカコが働いていた『レインボーチルドレン』の上司や同僚など、さらに『ハリケーンボーイ』の職員やメンバー、ボランティアさんが参列をした。誰も声を掛けていないが、Yさんが参列をしていた。

S A T O S H I ・ T A N A K A

敬事の料理コーナー

カレーライスの上にコロッケを乗せます。

おいしいです。

中華丼の上にコロッケを乗せます。

おいしいです。

秋刀魚の蒲焼丼もいけます。

アップルパイにバニラアイスを入れます。

おいしいです。

りんごは体にいいです。

カレーライスにさつま揚げを入れます。

うまいです。

私のはまっているどんぶりは野菜の和え物丼です。

ミックス丼もおいしいです。

丼に白いごはんを入れます。

冷凍食品の野菜の和え物をレンジで1分暖めます。

白いご飯の上に温めた野菜の和え物を載せます。

かき混ぜて食べてください。



柳川 敬事

バリアフリーよもやま話

第70回 「お笑い芸人」

岡本 明

前回、ホーキング博士のことを書きましたが、そのホーキングという名前を付けたお笑い芸人がいます。ご存知の方も多いと思いますが、ホーキング青山です。先天性多発性関節拘縮症で、生まれたときから両手両足は使えません。1994年、大川興業の若手芸人コンテスト『すっとこどっこい』によってデビュー。『身障者・お笑い芸人という生き方』、『差別をしよう!』、『考える障害者』などの著書もあり、障害当事者の立場から率直に書かれている主張には気づかされることも多くあります。



障害のあるお笑い芸人って他にはどんな人がいるのだろうとちょっと調べてみました。ここに挙げるのは数人ですが、これ以外にも何人か、とくにまだ下積みの人などもいると思います。

古くは白木みのるを思い出します。身長約140cmのいわゆる小人症で、1960年代にテレビコメディ『てなもんや三度笠』に珍念の役で出演し、人気を集めました。子役と思った人も多かったようです。NHKからは「視聴者に不快感を与える」として出演を許されなかったという話もありますが、とても良い役者さんです。

脳性まひブラザースは、「うまくしゃべれない」ほうのDAIGOと、「歩けない」ほうの周佐則雄のコンビです。2010年、NHK Eテレ「バリバラ」の「SHOW-1 グランプリ」の初代チャンピオンになりました。

TASKEは交通事故の後遺症で難聴、高次脳機能障害、右手麻痺などの障害があります。1992年にストリートで活動を開始し、2014年には「SHOW-1 グランプリ」で優勝しました。

あそどっぐ（1978～）は、「脊髄性筋萎縮症」のために寝たきりで、顔と左手の親指以外は動かさません。その寝たきり生活をネタにしたギャグやコントを発信しています。

障害のあるお笑い芸人の芸は、障害を扱ったものが多くみられ、障害ネタで笑わせることへの賛否両論の反応があります。

たとえば、NHKで放映された脳性まひブラザースのコントでは、医者役の車いすの周佐が症状を聞くと、患者役のDAIGOが「手が動かない。体も震える。うまくしゃべれない。風邪だと思う」とたどたどしく言う。周佐は「風邪じゃなくて脳性マヒですね!」とズバリ言い、「風邪だ」、「脳性マヒだ」といった押し問答を続けるのです。

これに対してNHKには約260件ものメールが届き、うち約250件が応援メッセージで、否定的な意見は7件だったそうです。「本人さえ納得してやりたいことをしているならば、別に何とも思わない」という賛成論から、「脳性マヒで苦しんでいる患者や家族などを馬鹿にしている。」「面白いどころか痛々しい。」などの反対論も寄せられたそうです。

次ページに続く ➡

バリアフリーよもやま話

← 前ページからの続き

あそどっぐの YouTube「コント：もしも寝たきり障害者が銀行強盗だったら」は、寝たきり障害者が銀行に押し入ったものの、カバンから刃物を取り出してカウンターにつき刺すのもたまたまそこにいた別の客に頼まなければならない。その客はあきれて出て行ってしまい、強盗は「あ、行かないでください・・・。」と悲しげに叫ぶ、というもの。他人の手助けを借りなければ脅迫ひとつできない「弱者っぷり」をさらけ出すのです（実はこれは、脳性まひの人が銀行強盗に入ったけど、銀行員に軽くあしらわれて何もできずに帰ったという、実話をネタにしたものだそうです）。この YouTube は再生回数 10 万回を超える人気です。あそどっぐいわく「障害なんかネタにしなくても話芸だけで笑わせてやるといきがってたけど、もうそんなこと言ってもらえない。自分の障害でもなんでもネタにして笑わせなければならない。芸人の世界は笑わせたモン勝ち」。さてこの問題、皆さんはどう思われますか。

寄付のお礼

賛助会・寄付にご賛同を下さった方（順不同）

三木 友直 様、福島 照行 様、福島 幸子 様、羽鳥 貞子 様
廣瀬 依生 様、仲 宏治 様、飯尾 裕子 様、相蘇 正義 様
鈴木 謙一 様、鈴木 公子 様、中井 英代 様、神谷 和子 様
中嶋 仁 様、中山 進 様、小西 雅子 様、司城 不二 様
大野 誠 様、小野田 和子 様、仙頭 邦子 様、田中 紀義 様
田中 柳三 様、田中 聡 様、内田 茂 様、松本 成子 様
松本 恵司 様、滝口 雅祥 様、菅野 美峰 様、岡本 和子 様
波多野 順治 様、伊野 秀信 様、諸角 始子 様
飯田 キエ子 様、堀 信子 様、波多野 栄子 様

本当にありがとうございました。

けい心のつぶやき

外に出よう横浜駅 街をある句を 散策に決めりました

いでさん

けいじ



↓伝の心を使いパソコンを操作するけいじさん



空気をセンサーに
送り込み、送り込ま
れた空気を電気信
号に変換
それによりパソコン
が動く仕組みです。



メンバーのつぶやき

私は食べるのが大好きです。混ぜ飯は最高です。白いご飯の上にミートソースとコショウ、塩をかけます。その上にチーズを乗せてオーブンで焼きます。2分ぐらいです。焼き目がついたら出来上がりです。名前はドリアです。

グラタン皿にご飯とカレーを載せます。その上にチーズとコショウ、塩をします。オーブンで1分焼きます。カレードリアの出来上がりです。熱いのでふうふうして食べてください。

柳川 敬事

僕は、このごろあんなに嫌いだったアメリカのトランプ大統領が、好きになりつつあるということです。

なぜ好きになりつつあるかというとな北朝鮮問題で話し合いに応じる姿勢を示したということです。

僕は政治の駆け引きはよくわかりませんが世界が、平和でいてくれればそれでいいのです。

太田 稔

誕生日

私の誕生日は、1964年(昭和39年)12月25日のクリスマスデーです。

幼い頃はみんなから羨ましがられる程、沢山プレゼントを貰いましたが、それでも毎年友人・知人よりささやかながらもプレゼントをいただいております。本当にありがたいことです。

掛橋 竜也



↑作業中の掛橋さん。

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

和柳松田小太
栗川本村野田
頭 塚
太敬恵亮 圭
郎事司彦航子

企画編集メンバー

幸三塚田太
木田中田

高直愛
史人基聡稔

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0022
東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階
TEL 03(6809)4001 FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>
ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

